

第18回政府現地対策本部会議・第21回熊本県災害対策本部会議 議事録

日時 平成28年4月27日(水) 16:30～

場所 県庁新館8階 職員研修室

1 地震の状況(沼川課長)

1ページは、地震の状況と天気の見通し。後程気象台から詳しく説明していただく。

2 被害の状況

2ページは、被害の状況。

まずは、(1)の人的被害。下線部が前回との変更点。

昨日以降、熊本市において新たに災害関連死の報告が2名。このため、県警の検死により、確認された死者49名。災害関連死16名。計65名。

行方不明者は現在1名。引き続き捜索中。

なお、災害関連死については、最終的には市町村の審査会で決定されるので暫定値である。

重軽傷者は分類未確定の方も含めて、1,488名の報告が上がっている。

次に、(2)住家被害について、

調査中であり、全壊、半壊、一部損壊合計で24,406棟。調査中の市町村もあるので、今後更に増えるものとする。

(3)、避難所数等の状況について、

県合計で、避難所数が492箇所、避難者数36,866人。前日比で4,253人減少。

(4)、避難指示等の発令状況

避難指示が8市町村。避難勧告が、11市町村。

3ページから8ページは報告したものの内訳。説明は省略させていただきます。

3 県等の対応状況

(総務部)

・人的支援

熊本市への派遣を含め、引き続き2,000人規模。り災証明絡みの応援は現在調整中。

・私立高校の避難所としての受入れ状況

1校を除き授業再開に向けた諸準備のため、受け入れ終了日を決定。

(企画振興部)

新幹線：九州新幹線が全線で運行を再開した。

(健康福祉部)

別添の資料1ページ目、3番4番の救護班、保健師の派遣状況については大きな変更はない。

3ページ目、ボランティア活動の状況

昨日よりも2カ所増え、14市町村でボランティアセンターの開設を行っている。

12番 高齢者、障害者等への宿泊施設の提供：現在51組110名

16番 義援金：現在21億8千万円余の義援金が寄せられている。

4ページ目、大型連休における一般ボランティアの受入れについての報道資料

現在、平成28年熊本地震については県内外から多くの御支援をいただいているところ。たいへんありがとうございます。特にボランティア受け入れについては、本当に多くの方々に御支援をいただいているところ。おかげ様で現在募集している一般ボランティアについては、市町村ごとに募集の定員を設けている状況。また、募集の対象地域も限定している状況。特に今週末から始まる大型連休中については、全国から、被災地の支援に携わる多くの関係機関、並びに御親族への面会等、非常に多くの方々が来県される予想。そのため、渋滞等も懸念される。このため、詳しくは県の災害ボランティアセンターのホームページをご覧ください、その点充分御配慮いただき、御支援いただくよう申し上げます。

続いて、5ページ。

本日益城町役場でお配りした資料。避難者の方々にこの資料をお配りして医学的見地並びに過密状態となっている町の保健福祉センター、並びに、総合体育館における避難者の方々を対象に設備の整ったいわゆる福祉避難所、並びにホテルに、集団避難等ができるかどうかの御意向を本日調査したところ。

調査結果については今現在とりまとめ中である。

(環境生活部)

水道施設の被害状況：甲佐町で断水が解消

廃棄物の処理状況：し尿処理施設 阿蘇の施設が試運転の段階に

菊池環境保全組合：仮置き場が満杯、鹿児島、久留米から収集と受入れの協力がある
っている

熊本市の災害ごみの収集実績：約2559トン

災害ごみの処理のフローについて：

熊本市の場合 家庭⇒家の近くのゴミステーションに災害ごみもだす。

(市内に2万カ所)

埋め立てゴミ⇒扇田の最終処分場

燃やすごみ⇒西部環境工場または東部環境工場だが東部環境工場は被災による焼却停止のため戸島の仮置き場を通して他県の応援もいただきながら焼却

混合ごみ⇒戸島も仮置き場から分別しながら焼却、リサイクルに

2万カ所あるゴミステーションから運び出す人手が足りない状況にあるため、本日安倍総理の方から、指示があり、自衛隊に協力していただけるということになった。

それで、熊本市、自衛隊、環境省、県の打ち合わせ会を本日開き、体制を整え、ごみ収集車と協力し合って明日朝から本格的に活動にすることとなった。後程、国の方から別途報道発表がされる。

次のページは益城町の場合。

各地域のごみステーションというところではなく、災害廃棄物については、仮置き場（中央小学校跡地）に持って行く形となっているが、ここが既に満杯に近い状態。

雨が降って非常にぬかるんでいることもあり、危険である。→持ち込みを中断して

いるが、町民の方にもこのことはご理解いただいている。

同時にぬかるんでいて危険な状態のため、整地作業を行った。雨が上がって搬入ができる状態になるのを待っている。

一次の仮置き場で分別をしながら、一次が一杯になりそうなので、二次仮場を空港近くの県有地（12ha）におくという作業をやったところ。

生活ごみについても、クリーンセンターが震災を受けて稼働を停止しているので、県北あるいは、宇城の方に受け入れてもらうことをやっている状況。

(商工観光労働部)

資料をつけているので説明は省略

(農林水産部)

農業用の用水施設について追加をした(資料3ページ参照)。参考として載せているが、菊池台地地区で幹線用水路や支線用水路が破損し、6割の1,800haで通水ができなくなっている。応急復旧を進めており五月中旬の復旧を目指している。農林水産業の被害全体については、第二報については5月1日に報告予定。

(土木部)

応急危険度判定：一次調査

益城町、菊陽町、宇土市、山都町が一昨日までに終了

昨日、宇城市、御船町が終了

市町村から要望のあった緊急性の高い地区について終了したということ。

今後、必要に応じて二次調査を実施する。

(教育庁)

下線部が変更点

休校が依然として多いが、一時登校の動きがみられる。

避難所については、避難者数が少しずつ減ってきている。

(県警本部)

本日も立野地区で、国土交通省の重機6台で捜索をしていただいている。

4 国等の対応状況

(文部科学省)

被災した文教施設の応急危険度判定を先週火曜日から行っており、3チームで回っており、本日私立6校、県立1校、宇城市の4つの小中学校、益城町の4つの小中学校を終えた。明日も引き続き実施。

(消防庁)

立野地区で国交省の捜索の安全管理支援を行っている。

(自衛隊)

給水：一昨日に比して140トン減

給食：8,500食の減で、落ち着いた様相を呈している。

(国土交通省)

道路関係：九州時間道路の植木～嘉島区間、阿蘇大橋の作業を継続。

土砂災害危険箇所：約1,100箇所のテックフォースによる点検調査が終了。

明日、熊本県知事及び13市町村に報告予定。

また、このテックフォースによる調査資料を市町村の災害査定資料に使用できるよう調整中。

洪水予報について、白川と緑川の基準を下げた運用を明日から開始。

住宅の応急危険度判定：対象の14市町村中、益城町、菊陽町、宇土市、山都町、御船町で完了。全体としても今月4月30日までに完了するよう努力する。

(海上保安庁)

熊本、八代港で入浴給水支援実施。数は減少傾向。

(気象台)

地震の発生回数は952回(正午)、このあと15:00までの締めで958回余震に警戒。

雨は明日の昼ごろまで、28日未明まで、大雨、雷注意報が継続の見込み。

(西部ガス)

都市ガスの復旧状況：都市ガス事業者、関係業界に御協力いただきながら、復旧作業にあたっている。本日12時現在67.9%、本日中に7割超える見込み。昨日は5月8日目途とお伝えしたが、4月末には復旧できる見込みとなった。

5 現地対策本部長等の発言

(酒井政務官)

今日は、総理から「今般の地震を特定非常災害に指定し、速やかに必要な措置を講じるよう」との指示があった。

これについて、兵谷審議官から少し説明をお願いしたい。

(兵谷審議官)

今日、特定非常災害の被害者の権利利益の保全等を図るための特別措置に関する法律、所謂、特定非常災害というものに指定された。

これは、従来、指定されたところは、阪神淡路、新潟中越地震、東日本大震災の3つである。熊本地震もそれに指定された。指定されると、行政上の権利措置の期間の満了とか、行政上の責務の免責、例えば運転免許証、飲食店の営業許可の有効期間の延長、さらには、薬局の休廃止の届け出の免責、そういったものもなされる。さらには、法人の破産手続きの開始の決定の特例、相続の承認・放棄の期間の特例といったことが今回のことになる。今後、仮設住宅が出てくると、仮設は基本的に2年間だけでも延長がされるといったことが出てくることもある。

(酒井政務官)

詳細については、それぞれできちんと把握していただきたい。

今日も何カ所か回ってきたが、こんな話があった。「私は神戸阪神大震災を味わって熊本に来ました。そしたらここでも地震に遭ってしまった。」ということで、涙が出てくるような話だったけれども、そういう方もいらっしゃるんだということで、大変つらい思いをしながら避難所で生活をしていらっしゃる。

引き続き皆様のご支援、ご協力で一日も早くと思っている。

そして、中小企業対策の関係をそろそろと思っている。もうやってらっしゃると思うが、中小企業の従業員の方々が片づけをしながら一日でも早く稼働したいという思いで一生懸命やっけていらっしゃるので、その点もご努力をお願いしたい。

瓦礫の問題は、自衛隊に総理からの指令が出たので、どんどん進むと思う。

そして、西部ガスさん、ご努力いただきありがとうございます。ゴールデンウィーク前にほとんどが回復するという事なので、感謝したい。

今日で2週間になる。あと2日すると1000回を超すのかなという感じ。通常では考えられない事態だが、引き続き皆様のご努力をお願いしたい。

6 県災害対策本部長の発言

(蒲島知事)

新たに、2名の災害関連死の報告があり、今回の地震でお亡くなりになられた方は、65名となった。謹んでご冥福をお祈りしたい。

連日、懸命な捜索が続いておりますが、依然として1名の方の所在がわからないままである。一刻も早い救助を心から願っている。

本日夕方から明日の朝方にかけて、再びまとまった雨が降るようだ。一連の地震で地盤が緩んでいることから、県と気象台の申し合わせにより、土砂災害警戒情報などは、通常より引き下げた暫定基準で発表される。余震も続く中、土砂災害には十分警戒し、市町村等への適時的確な情報提供をお願いしたい。

避難所生活の長期化に伴い、感染症などの健康面、衛生面、さらには、メンタル面のケアが重要となっている。県でも、保健師の巡回指導や安心して暮らせる住まいの確保に向けた取組みも進めている。引き続き、関係機関と力を合わせ、取り組んで参りたい。

また、地震発生以降、全国から多くのボランティアの方々が、支援のため熊本に駆けつけてくださった。この場をお借りして御礼申し上げたい。

今後は、市町村の状況に応じて、それぞれのボランティアセンターから募集がなされる。こうした募集情報を確認したうえで、ボランティア活動に参加していただくようお願いしたい。

この他に、新たなニュースとして、国において、今回の地震を、「特定非常災害特別措置法」に基づく「特定非常災害」に指定するとの表明があった。今後、正式に閣議決定がなされれば、行政許可に関する有効期限の延長など、各種の被災者支援措置が取られることになり、大変ありがたく思っている。

なお、本日、知事専決により、地震からの復旧・復興のための補正予算を編成した。中小企業対策として新たに200億円の追加融資枠を設定するとともに、信用保証料の全額補助により、利用者の保証料負担を0にした。

一日も早い復旧・復興を目指して、「チームくまもと」として一緒に頑張っていきたいと思います。

(以上)